

## 平成 21 年 4 月 20 日 県民企業常任委員会

### 行田委員

一つだけ質問をさせていただきたいと思います。

御報告がありましたかながわブランディングに関して質問させていただきたいと思ます。

まず、この質問に入る前に、このブランディングをつくらなければいけなかった理由は何なんだろうかというところに、まず、そもそも論に立ち返りたいと思います。

今まで、県のホームページというのは、いろいろな試行錯誤の積み重ねでつくられていたんだと思ながら、日々見ているわけですけれども、今回、このかながわブランディング、かながわスタイルをつくる必要があるんだという理由というのは何なんですか。

### 広報県民課長

昨今、少子・高齢化、人口減少社会、あるいは低成長経済といったことが言われておりまして、こうした中で、地域の活力を維持していくためには、相当な取組が必要だと考えております。

いわば地域間競争の激化という中で、これまでも神奈川県といたしましては、様々な先進的な取組を発信しておりましたが、黙ってではどんどん他県に遅れをとってしまうといった危機感がございます。

そういった意味で、既存の、ある程度ブランド化したものを活用しながら、更に神奈川県全体のイメージアップを図っていく必要があると考えてございまして、戦略性を持った発信あるいは長期的視点を持った発信、こういったことの必要性から、今回、かながわブランディングとして取り組むこととしたわけでございます。

そうした中で、いろいろな媒体を通じてこれから発信していくわけでございますけれども、まずはホームページにそういうサイトをつくりまして、広く県内外の方々に御理解いただくといったことから、ホームページを立ち上げたところでございます。

### 行田委員

プロモーション計画の中に目標や目的がちりばめられているわけですけれども、かなりアクティブなホームページであることが求められるのかと思いますので、そうしたことを頭に置きつつ質問をさせていただきたいと思います。

このプロモーション活動の取組については、三つの基本方針で進めていくというふうに書かれています。まず、神奈川の魅力、地域資源の積極的な発信とありますけれども、どのような魅力や地域資源を発信していくことを考えていますか。

### 広報県民課長

この計画の中では、産業・技術、地域・人材、そして政策の分野、この三つの分野の中から項目を選びまして発信していこうと考えてございまして。それらを一般的に発信するのではなくて、訪れる、住む、食べる、そういった行動パターンに注目いたしまして、それぞれの行動の中から神奈川を選んでいただけるような形で、分かりやすく発信していこうと考えてございまして。

この 48 項目の選定の基本的な考え方といたしましては、既にある程度知られており、良いイメージを持っていただいているブランドのある地域資源であるか、それから、神奈川県の特徴であります先進力、協働力という観点からふさわしいものかどうか、こういった観点から 48 項目を選定いたしまして、ホームページを立ち上げ、発信していこうとい

うものでございます。なお、これらの項目は決して固定的なものではなく、今後、様々な方々から御意見を頂きながら、追加あるいは入替え等を行って、より良いものにしていきたいと考えておるところでございます。

#### 行田委員

冒頭の答弁で、地域間競争の激化に対応していきたいということは、要は差別化を図ってきたいということだと思っております。神奈川を選んでいただくということは、これは相当力を入れてやっていく事業だと感じています。確かに大変重要なことだと思います。また一方で、多様な媒体を活用した効果的な情報発信というのもプロモーション活動の取組の一つの柱としてあるんですが、これは具体的にどうということですか。

#### 広報県民課長

まず、県の持つております媒体といたしましては、印刷媒体や新聞紙面の購入、あるいはテレビ・ラジオの番組、さらには、ホームページも大きな媒体だと考えてございまして、こういった媒体を有機的に連携させまして、重点的に広報していくといったことを考えてございます。

特に、ホームページでございすけれども、情報発信という方向に加えまして、県民の皆様から御意見を頂くページを設けております。こういった県民参加によりまして、この事業をより盛り立てていただければといったような考えもございまして、いわば双方向でもって、県民の方々の御意見も頂きながら関心を高めていただくといった方法も考えております。

もう一つは、広く海外にも向けて発信をしていきたいということで、英語版を作成し、国内外へ広く発信をしていきたいと考えております。

#### 行田委員

一方通行でなくて双方向でやっていきたいということで、形としてはいろいろやっつけられるのかもしれないですけども、資料を一通り見ても、双方向でやっていきますという意思是余り感じられないですね。あえて言うならば、23ページにある「神奈川への興味の度合いとプロモーション活動の関係」の「テーマを設定した県民等からの意見募集」というところだけなんです。

果たしてこれが本当に双方向で、県民の意見を頂いて、革新していくつもりなのかというところが疑問なんですけれども、実際に、これで固定してやっていくのでしょうか。

#### 広報県民課長

委員御指摘のテーマを設定した県民等からの意見募集というのが、ホームページにございますコーナーでございす。ただ、これだけではなくて、今後、私ども県民部としての様々な広聴の手段も持つてございすし、あるいは、新聞、雑誌等の中で発信をさせていただき、その反響も頂くと、こういったことを考えておりまして、いわば多様な形で、皆様の御意見を頂くということを主にやっていこうと考えております。

#### 行田委員

これは、先ほど堀江委員が指摘された話に非常に関連してくる話なんですけれども、とても重要な話で、双方向でやっていくという話になってくると、参加する側がこの媒体を使って宣伝にもつながる。しかしながら、それをやっていかないと、恐らくこのホームページの価値というのは上がっていかないわけですね。

発信するだけというのは、こちらは守る一方、出すだけなんですけれども、垣根を下げ

れば相手が入ってきます。相手が入ってきて、それをたくさんの人が見てくれて、これを見ることによって、ここに掲載することによって、皆さんがおっしゃっている神奈川県、神奈川県にお住まいの方々、企業であるとかそういうもののバリューがアップしていくという、そうした形に持っていけないと、こういうものはうまくいかないのではないかと思います。

ただし、同じものが出てきて、一方では宣伝され、一方では宣伝されなかったという問題があっても、これは、徹底的に情報を変化させ続けていくしかないだろうと思います。どんな媒体でもそういうものだと思いますので、ホームページに関してははやっていたかなければいけないと思います。

そこで、垣根を下げつつやっていくんですが、県のホームページを使ってとおっしゃいますが、これではアクセスが限られてしまうと思うんですね。例えば、関係団体のリンクを張るとか、広がりを持たせる努力や工夫がとても重要になってくるのではないかと思いますけれども、この点はいかがでしょうか。

#### 広報県民課長

現在作成しておりますホームページの中で、例えば、県や市町村の観光協会など関係の深い団体へのリンクを張らせていただいております。そういった団体へは、逆にこの団体に、私どもの方にリンクを張っていただくというお願いをしていくつもりでございますし、そうでない県内の関係機関・団体の皆様にも、なるべく多くリンクを張っていただくような努力をして、より広くこの取組が周知されるように図ってまいりたいと考えております。

#### 行田委員

もう一つの柱、県民や企業など民間との連携、これはどういう連携を図っていくんですか。

#### 広報県民課長

県民や企業の皆さんとの連携でございますが、大きく二つ考えておりまして、一つは、著名人にプロモーションをお願いできないかということでございます。もう一つは、県民や企業の方々からの意見を募集いたしまして、それを今後の取組に反映させていただくといったことを考えております。

そのほかに、例えば県内製品の生産団体の皆様が行っております様々なキャンペーン活動がございます。そういった活動と連携した取組も考えられるかと。また、例えば、神奈川の観光を紹介する、民間から出されております旅行雑誌などに特集として取り上げていただくと、こういったことも考えられるかと思います。こうしたことを通じて、なるべく多くの皆様との連携を図ってまいりたいと考えております。

#### 行田委員

いずれにしても、垣根を下げて、できるだけたくさんの方が交流できる場を提供しようということが大事なのではないかと思います。

冒頭、部長から、英語版のかながわスタイルを発信しますと、要は、内外共に視野に入れたかながわスタイルをつくっていきたいというお話がありました。これは大変重要なことだと思います。昨年末、経済危機に入った直後ぐらいのタイミングで、本県では7箇国語で、外国籍県民に対して、何か困ったことがあったらここにアクセスしてくださいというカードを県内で配布しました。私はいろいろなコミュニティの方とのお付き合いがあるんですけれども、彼らは、私たちのことまで考えてくれているのかということで、びっくりしていましたね。これも、かながわブランドをアップさせることだと思うんです。

社会の安定とか安全という観点からいっても、そういった情報発信というのはすごく重要だということを、これを通して感じたんですけれども、ただ一方で、今回、英語だけということがあるんですけれども、今後どのように考えているのかお聞かせいただけますか。

#### 広報県民課長

当面は英語版を作成いたしたいと考えておりますけれども、例えば、県の観光協会のページを見ますと、日本語、英語、韓国語、中国語という面がございますが、私どもも、海外の観光客を誘致しなければいけないという一つのターゲットがあります。そういった意味で、英語以外の言語でもこのサイトを作成する工夫をしてみたいと思います。そうすることによりまして、委員のお話にありましたように、多言語で紹介をするということは、本県が広く海外の方々に開かれていると、あるいは文化も受け入れていきたいと思いますという一つの現れではないかと考えておりますので、そういった意味で、ほかの言語につきましても情報発信ができるような仕組みを工夫してみたいと考えております。

#### 行田委員

最後に要望をさせていただきます。

かながわブランディングは、国内外に向けた神奈川力発信のツールだと私は認識しています。

ブランディングの成功のため、常に変化するアクティブなホームページになりますようお願い申し上げまして、私の質問を終わります。